

2013年度 事業報告書

自 2013年4月1日

至 2014年3月31日



特定非営利活動法人 開発教育協会 (DEAR)

第31回全研は、
富山で開催!
「北陸からの発信」
をテーマに
約**200名**が参加

開発教育メールマガジン
登録者数
3月末現在**2,312名!**
(前年比+434名)

水教材募金は
100万円を達成!
138名の方から
1,024,000円のご寄付。
ありがとうございます!

売上 No.1 教材
は、『ワークショップ版
世界がもし100人の
村だったら』で
942冊販売!

新教材
『日本と世界の水事情～
水から広がる学び
アクティビティ20』
を発行。

75件・160回
講師を派遣しました。
延べ参加者数はおよそ
4,800人

2013～2017年度
中期重点事業
を策定し、事業を
開始しました。

Facebook
公式ページを開設
「いいね!」数
増加中! 

教材体験フェスタ
2014には、全国各地
から関係者を含め
278名が参加

1. はじめに ～ 2013年度を振り返って ～

経済のグローバル化が進む中で、世界的な経済・金融危機、食料危機、気候変動といった地球的課題は深刻化し、貧富の格差の拡大や環境破壊などをもたらしています。

国内に目を向けると、原発事故で露呈された、都市が地方に大きく依存しているゆがんだ構造について、またそれをすすめてきた責任も問われることなく、一人ひとりの人権や生活よりも、経済発展や効率重視の政策がすすんでいます。

市民の意思が十分に反映されない政治や経済のあり方に大きな不安を覚えます。

このようなグローバル化の影響は、教育にも大きく影響しています。貧困や格差の増大がそのまま教育の機会の喪失につながるとともに、学校の現状や子ども達の実態に基づかない教育政策が進んでいます。政府が謳う「グローバル人材」については、その内容を十分に議論されないまま、せまい意味での人材育成に力が入れています。

DEAR は 1982 年に設立以来、教育の立場から公正な社会の実現のために活動してきました。

開発のあり方を、画一的なものではなく、多様な社会、文化、民族、地域に依拠した「様々な開発」ととらえ、「誰のための開発か」という視点から、その背景にある問題や構造を問い直し、よりよい社会のあり方を探る活動を会員と共に続けてきました。

設立 31 年目となる今年度も、社会の様々な問題を見据えながら、対話や学習を通して、公正で持続可能社会をどのようにつくるのか、考え、議論し、実践しました。

特に、今年度から2つの中期重点方針を掲げ、4つの重点事業を設定し、力を注ぐことになりました。

<中期重点方針>

1. 現在の開発のあり方やグローバル化がもたらす不公正を構造的に捉え広く発信する
2. 「世界は変えられる」という思いに基づき行動する人を増やす

今年度は重点事業1に関しては研究会を立ち上げ、現代の課題を扱うテーマを集め検討しまし

た。その他の事業についても情報収集、経験共有をはじめました。

参加を重視するという点では、難聴者のための情報保障として、講師やボランティア、会員と共に、要約筆記を実施したり、一人ひとりがゆっくりはっきりと話すことを徹底して、全ての人が安心して参加するための学びの場づくりをすすめています。

また、年度当初に計画した5つの領域「Ⅰ. ネットワーク事業」「Ⅱ. 実践・研究事業」「Ⅲ. 情報・出版事業」「Ⅳ. 研修・講座事業」「Ⅴ. 政策提言事業」においては、概ね事業計画通りに各種事業を実施することができました。

まずは、各中期重点事業の4つについて、報告いたします。

重点事業 1. 「グローバル化と開発問題」研究会の実施

現在のグローバルな諸課題（援助と国際協力、雇用・労働、食料安全保障、都市・農村格差、生産と消費、貿易、多様性と排除、女性と子どもの人権など）を開発教育的な視点で捉え、その視点を提示することを目的に研究会「グローバル化と開発問題」研究会を立ちあげ、以下のように、研究会活動を開始した。

●第1回研究会

日時:2014年1月10日(金)16:30~18:30

内容:ブレインストーミングにより研究テーマの課題抽出と整理を行い、各メンバーの担当テーマを決定した。メンバーは、担当したテーマについてそれぞれでより深め、次回研究会で報告することとなった。

●第2回研究会

日時:2014年3月6日(金)16:30~19:30

内容:第1回研究会で割り当てた各メンバーの担当テーマについて、報告と意見交換をした。

重点事業 2. 公正な社会づくりへ参加するためのアクションの支援

公正な社会づくりに向けたさまざまなアクションの可能性を示し、アクションの意識喚起につながる活動を実施するために、身近なアクションの事例や方法を収集し、『アクション・ハンドブック(仮称)』の作成をすすめた。具体的には、事例や情報収集を行った。

重点事業3.
国内外の開発問題を多様な人たちと話し合う場づくりの支援

身近な開発問題や賛否両論ある問題について対話し学ぶ場が広がるように、そのためのファンリテーター研修やツール作成を実施する。具体的には2014年度より事業を行う予定。

重点事業4.
教育政策に関する調査・ネットワークづくり

グローバル人材、教育改革などの教育政策の現状を開発教育の関連で理解するとともに、オルタナティブな教育のあり方を市民の立場から発信・提案することを目的に、今年度は、教育政策の現状について外部講師などを招き、情報収集を行うとともに、政策分析やネットワーク作りを行った。

具体的には、以下のような公開セミナーを行うとともに、情報収集を行った。

<概要>

タイトル: 講演&ディスカッション「日本の近年の教育政策～現状と課題」

日時: 2013年5月25日(土)

講師: 高橋寛人氏(横浜市立大学/DEAR 会員)

参加者: 20名

2. 各種事業報告

I. ネットワーク事業

1) 「担い手」連携強化事業

地域の担い手とのネットワーク維持・強化につとめた。

また第10回目となる「開発教育全国ネットワーク会議」を3月1日～2日の日程で、立教大学(東京都豊島区)にて開催。参加希望者の公募、原則1団体から2名以上の参加など、従来とは異なりより広い層の担い手が参加できる形式をとった。前半は、教育と開発のグローバルな最新動向について、

ESDとMDGsの専門家から話を聞き、参加者各自の実践との関連を探った。後半は、各自が持ち寄った実践を共有しながらふりかえるとともに、「ESDと地域ネットワーク」に関するふたつの事例報告を受け、地域での実践のありかたについて意見交換した。会議の詳細については、別途発行の報告書を参照のこと。なお本事業の実施に関しては、地球環境基金の助成を得た。

<概要>

第10回開発教育全国ネットワーク会議

日時: 3月1日(土)13:00～20:00、

3月2日(日)9:00～12:30

参加者: 29名

講師: 稲場雅紀氏(アフリカ日本協議会、「動くー動かす」)、名執芳博氏(ESD-J)

報告: 小泉雅弘氏(さっぽろ自由学校「遊」)、藤本恵子氏(バニヤンツリー)

2) ESD 実践評価指標の作成と普及

「自己評価・ふりかえり指標研究会」を立ち上げ、3回の研究会を実施するとともに、研究会コアメンバーによる検討会議を9回実施。研究会では評価指標・ツール案を各自の実践で試行し、その経験から指標・ツール案の改善に向け議論した。検討会では、研究会での議論をもとに最終的な指標・ツールをまとめた。結果、学習対象や場、評価の目的や場面等の別に応じた5つの自己評価指標・アプローチを提案、これを『ESD・開発教育実践者のための 自己評価・ふりかえりハンドブック』として発行した。

さらに、ワークショップを2回実施、延べ約60名のESD実践者が参加。これにより、実践者にまずはふりかえりのプロセスを実際に体験してもらうことで、ふりかえりによりどのような気づきや学びがあるのか、その意義を体感的に理解してもらうことに努めた。なお本事業の実施に関しては、地球環境基金の助成を得た。

<概要>

■「自己評価・ふりかえり指標研究会」の開催

第1回

日時: 2013年11月10日(日)

内容: 自己評価・ふりかえり指標・ツール案を利用したふりかえりの実践共有と意見交換

第2回

日時: 2013年12月23日(月・祝)

場所: 滋賀県国際協会

内容: 自己評価・ふりかえり指標・ツール案を利用したふりかえりの実践共有と意見交換

第3回

日時:2014年2月11日(火・祝)
場所:上智大学
内容:指標・ツール案のうち「学習者アプローチ」を利用したふりかえり実践共有と意見交換

■「自己評価・ふりかえり指標検討会」の開催
実施日:
第1回(2013年4月15日)、第2回(2013年6月3日)、第3回(2013年7月23日)、第4回(2013年10月7日)、第5回(2013年12月2日)、第6回(2014年1月20日)、第7回(2014年2月11日)、第8回(2014年3月4日)、第9回(2014年3月26日)
内容:指標・ツール案の検討と作成、『ふりかえり・自己評価ハンドブック』作成に向けた検討および執筆、「評価ワークショップ」の企画・準備を行った。

■評価ワークショップの実施
第1回
日時:2014年3月1日(土)～2(日)
内容:「開発教育全国ネットワーク会議」としてふりかえりワークショップの実践
第2回
日時:2014年3月30日(日)
内容:「教材体験フェスタ」における「ふりかえり・自己評価ワークショップ」の開催

■『ESD・開発教育実践者のための 自己評価・ふりかえりハンドブック』
発行:2014年3月25日
発行部数:500部

3) 海外ネットワーク事業

① ASPBAEへの参加

DEARが団体会員になっているアジア南太平洋基礎・成人教育協議会(ASPBAE)の東アジア地域理事に、当会の副代表理事の上條直美が2013～2016年の任期で理事に就任し、アジア太平洋地域のNGOと積極的に情報共有を行った。2月に理事会に出席(於インド、年1回開催)、9月にBLDC(Basic Leadership Development Course:若手スタッフのためのリーダーシップ研修)がミャンマーで開催され参加した。

② ヨハネスブルグ会議への参加

南アフリカのヨハネスブルグで開催された会議に事務局長の中村絵乃が参加した。本会議は、グローバル化への抵抗運動として市民がすすめる運動や学びを有機的につなげていくことを目的として開催された。

世界各国の参加者と開発教育や持続可能な社会をつくるための市民の取り組みについて情報共有や議論、ネットワーク作りをすすめた。

<概要>

会議名称:Building a global citizens movement, Conference Johannesburg『ジヨハネスバーグ会議～地球市民の運動をつくる～』

日程:2013年11月11日(月)～11月12日(火)

場所:南アフリカ ヨハネスブルグ

共催:CONCORD/DEEEP、CIVICUS、GCAP

また、この会議の報告会を以下のように開催した。

<概要>

名称:ヨハネスブルグ会議報告会

日時:2014年1月10日(金)19:00～21:00

会場:上智大学

主催:DEAR 共催:上智大学学内共同研究「多文化共生社会におけるESD・市民教育の可能性」

協力:「動く→動かす」

報告:稲場雅紀氏(アフリカ日本協議会、「動く→動かす」)、中村絵乃(DEAR)

コメント:今田克司氏(CSO ネットワーク、CIVICUS)

参加者:20名

II. 実践・研究事業

1)「開発教育研究会」

開発教育の研究実践活動の質的な進化や向上に向けて、関連する教育的課題や今日的課題などに関する調査研究活動を行った。今年度は以下のような各部会を設置した。

①「対立解決教育」部会

対立解決教育プログラムの日本の教育現場や地域社会での実践におけるカリキュラムの開発や、対象ごとのプログラムの体系化をすすめた。具体的には、小学校からの依頼を受けて、自分も他者も尊重するコミュニケーションについてのプログラムをつくり、実施した。

研究会の活動と平行して教材『子どもとできる創造的な対立解決』を活用したワークショップを開催した。実際に教室で活用するための工夫や問いかけについて議論を深めた。さらに、「教材体験フェスタ2014」でも「気持ちを認めるコミュニケーション」というタイトルで1コマを担当した。

<概要>

「子どもとできる創造的な対立解決」を使った実践

ワークショップ

11月30日(土)14:00~17:30

会場:富坂キリスト教センター1号館

講師:藤木優子(高校教員)・吉田直子(大学院生)

内容:「アクティブ・リスニング」「社会的な不正」

参加者:15名

②授業づくりサークル

メンバーが実践した授業をふり返り、授業前・授業中・授業後における授業づくりの過程を分析、議論する会議を計8回行った。また、これから実践する授業について相談を持ち込んできたメンバーの授業について話し合った。

③「グローバル化と開発問題」部会

重点事業1(p.2)を参照

④「開発教育アーカイブ」部会

開発教育の成り立ちや背景を研究するとともに、重要な資料などを整理、共有する研究会を以下のように開催した。

<概要>

第1回 2013年3月9日(土)「日本の開発教育のルーツ」講師:田中治彦(上智大学)

第2回 5月31日(金)「戦前の国際教育―沢柳政太郎の思想と活動」

講師:早川佳乙里(上智大学大学院)

第3回 6月22日(土)「1980年代の開発教育協議会の活動」講師:田中義信(開発教育協議会初代事務局長)

第4回 10月12日(土)「『国際理解教育』と『開発教育』との連続・不連続」

講師:小瑠史朗(弘前大学教育学部)

第5回 11月16日(土)「1990年代の開発教育を振り返って」講師:山西優二(早稲田大学教授、開発教育協議会元事務局長)

第6回 2014年2月28日(金)「関西地域の開発教育の歴史」講師:岩崎裕保(帝塚山学院大学)

2)第31回「開発教育全国研究集会」の開催

8月17日(土)から18日(日)までの2日間の日程で、「富山高等専門学校」(富山市)を会場に「北陸から発信する人づくり」をテーマに全国研究集会を開催した。参加者数は関係者含めて202名。

今回の研究集会では、富山をはじめ北陸の実行委員が中心となり、企画・実施された。北陸の実践や経験を発信したり、地域の課題を扱うフィールドスタディや、PBL(問題に基づいた学習)、開発教

育をテーマとした分科会を通して、持続可能な社会や学びのあり方について議論が行われた。

尚、本事業は、一般財団法人日本国際協力システムの助成を得て行われた。詳細に関しては機関誌『開発教育 60号』を参照のこと。

3)機関誌『開発教育』の編集発行

機関誌『開発教育』第60号を12月に発行した。特集は「学びとしてのフェアトレード」で、フェアトレードを学びとして捉えた時の可能性を多方面から議論した。

<概要>

タイトル:『機関誌 60号』

特集:『学びとしてのフェアトレード』

発行:2013年12月1日

発行部数:900部

Ⅲ. 情報・出版事業

1)新規教材図書の企画編集と制作発行

開発教育に関連する次のような新規の教材や図書の、企画編集や制作発行や増刷をおこなった。またそのために、引き続きその財源や出版社等との実施体制の確保に努めた。

①『日本と世界の水事情～水から広がる学び アクティビティ20』

発行:開発教育協会

発行日:2014年3月20日

判型・頁数:テキストA4判・124頁、写真一覧表(A3カラー)、CD-ROM

対象:小学生以上

発行部数:1,500部

助成:東京ガス環境おうえん基金、あんのん基金

協賛:NPO法人アユス仏教国際協力ネットワーク、公益財団法人 日本YMCA同盟

②『アクション・ハンドブック(仮称)』

重点事業2として、公正な社会をつくるための身近なアクションの事例や方法を収集し、『アクション・ハンドブック』の作成準備を進めた。

③『新 開発教育キーワード(仮称)』

2002年に発行された『開発教育キーワード 51』の内容を刷新し、作成する予定であったが、従来の用語解説集という形では発行を見送ることとし、

内容を一新した冊子の作成を検討することとした。

④その他図書教材の編集企画・編集協力

上記以外にも図書・教材・資料等の編集企画を進めるとともに、当会関係者による出版企画に対して協力していく。また、既存の教材で在庫が少ないものを改訂・増刷発行を行った。

<改訂発行>

『貧困と開発』簡易版(仮)

2005年に発行された『貧困と開発～豊かさへのエンパワメント』を部分的に改訂し、2014年に発行するため企画編集会議を実施した。

『ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第4版』

2,000部

データや解説を更新し、「使用上の留意点“日本に生まれて良かった”を越えるために」などを追加した。

<単純増刷>

『開発教育実践ハンドブック～参加型で世界を感じる』

2,000部

『開発教育ってなあに～開発教育 Q&A 改訂版』

1,000部

2) 出版物販売

当会発行の教材・図書資料の他、関係団体の発行図書などを受託販売し、自己財源の強化を図った。教職員免許更新の講座を持つ大学やユネスコスクールへの販促DMを送付した。

「教材体験FESTA2014」を開催したこともあり、2014年1月以降の売上が伸び、最終的には予算を上回る768万円の収入となった。

<書籍売り上げベスト5>

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1位 『ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら』 | 942冊 |
| 2位 『新・貿易ゲーム』 | 470冊 |
| 3位 『写真で学ぼう！「地球の食卓」学習プラン10』 | 397冊 |
| 4位 『開発教育ハンドブック～参加型で世界を感じる』 | 344冊 |
| 5位 『フードマイレージ～どこからくる？私たちの食べ物』 | 225冊 |

3) 広報資料作成

①ウェブサイトの運営

開発教育ポータルサイトとしてウェブサイトでの情報発信を行った。

<2014年4月～2013年3月>

- ・137,392 セッション 前年: 108,256
- ・365,074 ページビュー 前年: 324,190
- ・2.66 平均ページビュー 前年: 2.99
- ・02:04 分 平均サイト滞在時間 前年: 02:14
- ・72.95% 新規セッション率 前年: 69.47%

訪問者数・閲覧数ともに毎年増加を続けている。よく読まれているのは「参加型学習」「教材」「イベント」関連のページ。イベント参加申込や支払い(paypal)はウェブ経由のものが多くを占めてきている。

②スタッフ・ブログの運営

<2013年4月～2014年3月>

- ・3,813セッション 前年: 4,291
- ・6,265ページビュー 前年: 6,742
- ・1.64平均ページビュー 前年: 1.57
- ・1:23分平均サイト滞在時間 前年: 1: 17
- ・72.70% 新規セッション率 前年: 68.31%

Facebookの本格運用を始めたため、ブログの投稿記事は減少した。訪問者数は減少したが、新規訪問者数やページ閲覧数、滞在時間は増加した。よく読まれているのは講師派遣レポート。

③Facebookページの開設

2013年8月に全研広報用に開始し、9月末に公式fbページとしてリニューアルした。主催イベントや教材の紹介のほか、開発教育や国際協力に関連するニュースも配信している。

3月の「いいね！」数: 717(前年比+401)

④メールマガジンの発行

毎月1回のメールマガジンの発行を開始し、主催事業や資料の情報を発信した。3月末現在2,312名(前年比+434名)が登録している。

⑤ツイッターの運営

2011年11月16日にツイッターを導入(アカウント名は@ngoDEAR)。イベント情報や教材関連情報を中心にツイートしている。3月のフォロワー数: 390(前年比+85)

⑥資料請求者への対応

ウェブサイト上から無料で資料請求を開始し

た。全国から請求があり、55件(前年比-14件)に対応している。2名が新入会。

⑦Google Grantsの導入

Google社が非営利団体向けに提供している無料広告ツール「Google Grants」に採用された(キーワード検索時にDEARサイト内のページにリンクが表示される仕組み)。

⑧マーケティング基礎調査の実施

NPO法人サービスグラントの助成を得て、教材購入者を対象としたマーケティング基礎調査を実施した。DEARの教材を購入したことのある方の98%が「たいへん満足している」または「満足している」と回答するなど、高評価を得ていることがわかった。また、購入者の属性や購入頻度、ニーズなども分析し、今後の教材開発や販売の参考となる調査結果が得られた。

IV. 研修・講座事業

1) 講師派遣事業

政府機関・自治体・教育委員会・学校／大学・自治体国際化協会・NGOなどからの講師派遣依頼に対して、DEARの役職員等を講師として計75件160回派遣した。述べ参加者は約4,800名。依頼先は大学や自治体、NGOなどが多く、内容は「100人村ワークショップ」が多かった。詳細は資料編を参照。

2) 教材体験フェスタ2014

当会や関係団体のオリジナル教材など使ったワークショップ体験を目的とする標記フェスタを、開催し、約200名の参加者があった。また、講師を含め、約70名のボランティアの参加があった。

<概要>

月日:2014年3月29日(土)、30日(日)

会場・協力:JICA横浜

参加者数(関係者含め):278名

内容:人権、環境、開発、多文化共生など様々なテーマを扱った教材を30コマ実施し、教材や進め方について学び、各現場で実施してもらうことをねらいとして実施。参加者は全国から集まり、実践的なヒントを得られたと好評であった。

詳細はウェブサイトの報告を参照。

3) 各種講座

①「開発教育入門講座」

開発教育の基礎的理解を目的とした入門講座を毎月1回、計10回(8月は全研・3月はフェスタで実施のため)、延べ191名の参加者を得て開催した。

②「エネルギーワークショップ」

教材『もっと話そう!エネルギーと原発のこと〜参加型で学び合う16の方法』を使ったワークショップを昨年度に引き続き、3回実施した。

●4月20日(土)

主催:北海道国際交流センター

会場:北海道国際交流センター

講師:八木亜紀子

参加者:20名

●6月22日(土)

主催:地球市民教育塾ひろしま

会場:平和文化センター

講師:西あい

参加者:25名

●6月29日(土)

主催:かながわ開発教育センター(K-DEC)

会場:かながわ県民活動サポートセンター

講師:中村絵乃

参加者:12名

③「水」教材体験講座

今年度作成した「水」の教材を使ったワークショップを実施し、参加者から意見をもらった。

●11月23日(土)

テーマ:「ボトルウォーター」「水道事業」

会場:富坂キリスト教センター1号館会議室

講師:宮崎花衣(DEAR)

参加者:15名

●1月18日(土)

テーマ:「世界の水事情」「日本のダム開発」

会場:富坂キリスト教センター1号館会議室

講師:宮崎花衣(DEAR)

参加者:17名

④“ホンモノのチョコレート”づくりワークショップ

月日:2014年1月28日(水)

共催：(特活) APLA、上智大学学内共同研究「多文化共生社会におけるESD・市民教育の可能性」
講師：野川未央(APLA)、宮崎花衣(DEAR)
会場：上智大学四谷キャンパス
参加者：20名
内容：インドネシア・パプアの小規模農民たちが育てたカカオからチョコレートをつくる。また、APLAの活動についての話を聞き、民衆交易について学ぶ。

4) 他団体との共催・協力事業

① 開発教育連続セミナー2013

「心にひびく学び→ワタシ・明日・世界が変わる」
＜主管：大阪事務所＞
(公財)大阪国際交流センター、(独)国際協力機構、関西国際センターが共催する開発教育に関する基礎的理解を目的とした連続セミナーの企画・開催に協力した。また過去の連続セミナー受講者が講師となりセミナーを進行した。
＜開催実績＞
日程：下記の通り
会場：大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)
共催：(公財)大阪国際交流センター、(独)国際協力機構関西国際センター
協力：DEAR 大阪
後援：大阪市教育委員会、大阪府教育委員会、(特活)関西NGO協議会、YMCA総合研究所

●第1回：8月8日(木)10:00～16:30
特別編・国際教育セミナー
教育・子ども・環境・南北問題・国際協力などをテーマに、NGO/NPOが実施するプログラムを選択し、午前・午後1つずつ体験した。
※この特別編は、(公財)大阪府国際交流財団との共催により、大阪府教職員自主研修支援【大学・専修学校等夏期オープン講座】として実施した。
講師 参加者：45名

●第2回：10月27日(日)10:30～16:30
フィールドワークin コリアタウン～歩いて感じる過去・現在・未来：金光敏(コリアNGOセンター)、スタッフ：ファシリテーターズ パレット
参加者：20名

●第3回：11月24日(日)10:00～16:00
開発教育ファシリテータースキルアップ研修～心で感じて変わる
講師：浜田進士(子どもの権利条約総合研究所)、

スタッフ：ファシリテーターズ パレット(講座参加者によるボランティアチーム)
参加者：30名

●第4回：1月26日(日)13:00～16:30
「国際協力の理念と実際～ソムニード 宮下和佳さんとともに」
講師：宮下和佳(ソムニード)
参加者：30名

●第5回：2月16日(日)13:00～16:30
「フェアトレードの理念と実際～LOVE & SENSE 高津玉枝さんとともに～」
講師：高津玉枝(株式会社福市)・佐藤友紀(DEAR)
参加者：40名

② 日本 YMCA 同盟「地球市民育成プロジェクト」
日本 YMCA 同盟が実施する「地球市民育成プロジェクト」の内容や概要について助言し、カリキュラムの作成、運営に協力した。また夏の研修実施にファシリテーターとして協力した。

＜概要＞
タイトル：YMCA 地球市民育成プロジェクト
日時：8月29日～9月4日
場所：日本 YMCA 同盟 東山荘

③ 「ESD を活かした学校づくり」研究会
聖心女子大学の永田佳之研究室との協同で、標記研究会を実施した。学校づくりに ESD の視点を入れている校長先生にインタビューをし、そのエッセンスをまとめたり、ESD をすすめるための、ヒントをまとめた冊子の構想を練った。
また、ESD 公開学習会を開催した。

＜概要＞
タイトル：第3回 ESD 公開学習会～ESD は教育問題にどう応えるのか？
日時：1月25日(土)14:00～18:00
場所：聖心女子大学

内容：いじめ・不寛容についての ESD 的なアプローチを考える
参加者：40名

④ 原発輸出についてのシンポジウム
エネルギー問題に関心を持つNGOと共催で原発輸出に関するシンポジウムを開催し、日本の原発輸出政策の現状やベトナムにおける原発輸出をめぐる状況について議論をした。
＜概要＞

シンポジウムテーマ:ここがマズイ、原発輸出—ベトナム編

日時:9月17日(土)13:30~17:00

場所:早稲田大学 小野記念講堂

共催:(NPO)APLA、(NPO)アユス仏教国際協力ネットワーク、(NPO)アジア太平洋資料センター/PARC、(NPO)国際環境 NGO FoEJapan、(NPO)メコン・ウォッチ、早稲田大学アジア研究所

協力:「環境・持続社会」研究センター/JACSES、(NPO)原子力資料情報室

講師:伊藤正子(京都大学)、遠藤聡(共立大学他)、中野亜里(大東文化大学)、満田夏花(国際環境 NGO FoE Japan/メコン・ウォッチ)、吉井美知子(三重大学)

参加者:60名

V.政策提言事業

1)行政に対する政策提言

①NGO-JICA 開発教育連携のための協議

昨年度に引き続き、NGO-JICA 間開発教育/国際理解教育に係る連携強化のための NGO 側の窓口になり、JICA 地球ひろばと協議を行った。

また、DEAR の教材・資料に関して、JICA の国内拠点などで無断使用されている件について、著作権法の理解と遵守や著作権者の明示などについて、DEAR 側から JICA 側に申し入れを行った。

2)キャンペーンへの協力

①「世界中の子どもに教育を」キャンペーン 2013
学校に通えない子どもたちが世界中にたくさんいる現状に目を向け教育の大切さを同じ時期に考える地球規模のイベント。

日程:2013年4月15日~5月12日

協力内容:教員の手引の作成、助言、広報

②スタンド・アップ キャンペーン

ミレニアム開発目標(MDGs)達成を後押し、貧困解決をめざすために世界で行われるキャンペーン。

日程:2013年9月1日~17日

協力内容:企画助言、広報協力、イベント協力

VI. 組織運営

1)会報「DEAR ニュース」の編集発行

開発教育の関連情報をはじめ、DEARや各地の「担い手」などの活動状況を紹介することを目的とした会報を今年度は年5回(4・6・8・10・2月)、各号1,000部を発行した。

<発行実績>

・第161号(発行:4月1日)

特集「TPPとは何か？」

・第162号(発行:6月1日)

特集「ダムとメコン河、そして日本」

・第163号(発行:8月1日)

特集「パプア・チョコレートの挑戦」

・第164号(発行:10月1日)

特集「デンマークの教育とPBL」

・第165号(発行:2月1日)

特集「おきなわ語と唄三線で感じ、考える多文化・多言語国家ニッポン」

2)認定 NPO 法人化

認定 NPO 法人化に向けて、6月と10月には(特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会が開催する認定 NPO 相談会に参加するなど、認定 NPO 申請に必要な手続き等の情報収集を行った。

寄附者要件(パブリックサポートテスト)の関係から、まずは仮認定(認定の前段階)取得を目指し、東京都に申請書を提出した。2014年5月中に審査を受ける予定。

3)サポーター制度の導入

継続的に DEAR をサポートしてくれる人を増やし、組織強化につなげるために、サポーター制度の導入を検討した。認定 NPO 法人格取得後の2014年度後期(予定)より、試験的に開始することとなった。

4)会員拡大

会員拡大をめざし、会員継続率の向上や新規会員獲得に取り組んだ。具体的には、連絡のない会員に直接電話をしたり、夏の全国研究集会や、教材体験フェスタなどでも、よびかけた。教材体験フェスタでの呼びかけに対して、20人の新入会員があったので、それは、次年度反映されることになる。

処務の概要

1) 会員に関する事項

<昨年度報告>

2014年3月末現在の会員数は、次の通り。ただし、括弧内は昨年末比の数字。

正会員	団体 22団体(−3団体) 個人 408名(−26名)
賛助会員	団体 17団体(+2団体) 個人 240名(−25名) (内学生会員:35名/−12名)
<参考>	団体会員 39団体(−1団体) 個人会員 648名(−51名)

2) 役員に関する事項

(註:役員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

●代表理事

岩崎裕保(帝塚山学院大学)

●副代表理事

上條直美(立教大学)

湯本浩之(宇都宮大学)

●常任理事

阿部秀樹(会社員)

阿部真理子((認定NPO)IVY)

田中浩平((財)千葉YMCA)

●理事

甲斐田万智子((特活)国際子ども権利センター)

齋藤 聖(高校教員)

佐藤友紀(高校教員)

佐渡友哲(日本大学)

田中治彦(上智大学)

筒井哲朗((特活)シャプラニール=市民による海外協力の会)

浜本裕子(YMCA学院高等学校)

韓 朱仙((特活)コモンビート)

向井一朗(桜美林大学)

本山 明(中学校教員)

中村絵乃((特活)開発教育協会)

●監事

重田康博(宇都宮大学)

山崎唯司(元JICA地球ひろば市民参加協力アドバイザー)

●評議員

磯田厚子((特活)日本国際ボランティアセンター/女子栄養大学)

伊藤通子(とやま国際理解教育研究会(TIE))

枝木美香((特活)アユス=仏教国際協力ネットワーク)

榎井 縁((財)とよなか国際交流協会)

大江 浩((公社)日本キリスト教海外医療協力会)

黒田貴史(明石書店)

白木朋子((特活)ACE)

田中 博(参加型評価ファシリテーター)

千葉 保(國學院大学非常勤講師)

椿原 恵(コミュニティコミュニケーション・サポートセンター(Commu))

永田佳之(聖心女子大学)

奈良崎文乃(国際NGO職員)

檜府暢子(東京大学附属中等教育学校教員)

ヘッセ杉山ナオコ(生涯学習・異世代異文化コミュニケーション・コーディネーター)

三輪敦子(UN Women大阪)

諸英樹(「動く」→「動かす」)

横山由利亜((財)日本YMCA同盟)

3) 会員総会に関する事項

2013年度定期会員総会

と き:5月25日(土)

ところ:富坂キリスト教センター1号館

<第1部> 13:00~14:30

講演&ディスカッション「日本の近年の教育政策～現状と課題」講師:高橋寛人氏(横浜市立大学)

<第2部> 15:00~17:00

2013年度定期会員総会議案

第1号議案 12年度事業報告および収支報告について

第2号議案 13~17年度新中期方針について

第3号議案 12年度事業計画および収支予算について

第4号議案 定款の改訂について

4)理事会に関する事項

●第1回理事会

と き:5月25日(土)

ところ:富坂キリスト教センター 1号館

議 案:

- 1)各種委員会の設置及び委員選任
- 2)財政基盤強化と今後の流れについて
- 3)理事の役割分担

●第2回理事会

と き:11月2日(土)13:00~17:00

ところ:富坂キリスト教センター1号館

議 案:

- 1)上半期事業・収支報告
- 2)下半期事業予定
- 3)役員の改選について
- 4)財政基盤強化・組織強化について
- 5)会員からの要望書について
- 6)その他

●第3回理事会

と き:2月28日(金)19:00~21:00

ところ:富坂キリスト教センター1号館

議 案:

- 1)2013年度事業報告・収支報告・見込み報告
- 2)2014年度事業計画
- 3)2013~2017年度中期重点事業について
- 4)報告

●第4回理事会

と き:4月26日(土)13:00~17:00

ところ:富坂キリスト教センター1号館

議 案:

- 1)2013年度の事業報告・収支報告
- 2)2014年度事業計画・収支予算案
- 3)次期役員改選について
- 4)ODA大綱の見直しについて
- 5)会員総会について
- 6)報告

5)評議員会に関する事項

●第1回評議員会(理事会合同会議)

と き:7月6日(土)13:00~17:00

ところ:富坂キリスト教センター1号館

議 案:

1. DEAR 報告

- 1)2007~2012年度中期方針・2012年度事業報告につ

いて

2)新中期方針・重点事業について

3)2013年度計画・予算について

2. 審議事項

1)理事候補者選考委員について

2)今年度の評議員会について

3. ディスカッション(ワールドカフェ形式)

1)地域で開発教育を行う機会について(寄付・会員・書籍・セミナーなど)

2)潜在的にアプローチできそうな個人、団体、そのニーズは何か

3)新中期重点事業について

6)2013年度事業評価・計画会議

2013年度の事業評価と、2013年度の事業計画を共有し、議論した。

と き:2月22日(土)10:00~17:00

ところ:富坂キリスト教センター1号館

議題:

・2013年度事業評価

・2014年度事業計画

・中期重点事業について

7)各種委員会に関する事項

本年度は、次のような各種委員会が理事会内に設置され、当会の運営や事業について協議を行った。

(註:各種委員は個人の立場で当会の運営に参加しており、括弧内は本人の勤務先や所属先等を参考までに紹介するものです)

①DEAR大阪運営委員

委員:阿久澤麻理子(大阪市立大学大学院)／荒川共生((特活)ポルネオ保全トラストジャパン)／岩崎裕保(帝塚山学院大学)／内田弘志((公財)大阪YMCA)／大森容子((公財)滋賀県国際協会)／佐藤友紀(高校教員)／談儀善弘(高校教員)／友前尚子(関西セミナーハウス開発教育研究会)／永井道子((財)神戸YMCA)／浜本裕子(YMCA学院高等学校)／榛木恵子((特活)関西NGO協議会)／丸山まり子(地球市民フォーラムなら)／三輪敦子(UN Women大阪)／山中信幸(柳学園中学校・高等学校)

②要約筆記ガイド作成委員会

委員:上條直美(立教大学)／斎藤聖(高校教員)

会員の要望を受け、要約筆記や情報保障の重要性を事務局だけでなく、役員や会員にも広げるために、情報収集を行い、ガイドの概要を作成した。

③職員採用委員会

委員：阿部眞理子 (IVY) / 上條直美 (立教大学) / 湯本浩之 (宇都宮大学) / 中村絵乃 (DEAR) / 西あい (DEAR)
新規職員を採用するために、採用基準を作成し、募集、書類選考、面接を行った。

8)プロジェクト・チームに関する事項

本年度は、以下のようなプロジェクト・チームが設置され、各事業や活動の企画運営にあたった。

①開発教育研究会

- a)「対立解決教育研究」部会
- b)「授業づくりサークル」部会
- c)「自己評価・ふりかえり指標作成」部会
- d)「グローバル化と開発問題」部会

②第31回「開発教育全国研究集会」実行委員会

③機関誌「開発教育」編集委員会

④会報「DEARニュース」編集委員会

⑤「水教材」編集委員会

⑥「『貧困と開発』簡易版」編集委員会

⑦「開発教育入門講座」チーム

⑧「グローバル・エクスプレス」チーム

9)職員に関する事項

<事務局>

事務局長	中村 絵乃 (有給・常勤・専従)
事務局次長	西 あい (有給・常勤・専従)
事業担当	八木 亜紀子 (有給・非常勤・嘱託)
事業担当	宮崎 花衣 (有給・非常勤・嘱託)
経理・総務担当	大久保 美智彦 (有給・非常勤・嘱託)
総務担当	中田 洋子 (有給・非常勤・嘱託)

<大阪事務所>

所長	佐藤 友紀 (無給・非専従)
次長	浜本 裕子 (無給・非専従)



10)インターン・ボランティアに関する事項

今年度に事務局で受け入れを行ったインターン・ボランティアは次の通り。

<事務局インターン>

前田理恵 (社会人、2013年5月～2013年8月)
都築弥生 (桜美林大学、2013年5月～2013年8月)
日野智子 (早稲田大学、2013年7月～11月)
星久美子 (社会人、2014年1月～2014年3月)
大谷友里恵 (桜美林大学、2014年3月)

<事務局ボランティア>

滝本雅章 (社会人、2013年4月～2014年3月)
佐藤雄介 (早稲田大学、2013年4月～2014年3月)
大塚景子 (社会人、2013年4月～2014年3月)
時里荻子 (横浜市立大学、2013年4月～2014年3月)
多田糸織 (早稲田大学、2013年7月～8月)
田辺 優 (社会人、2013年11月～2014年3月)
佐藤建蔵 (社会人、2014年1月～2014年2月)
福島智子 (社会人、2014年1月～2014年3月)

また、第31回開発教育全国研究集会には30名、教材体験フェスタ2014には32名のボランティア参加があった。

さらに、難聴者のための情報保障として、要約筆記のマニュアルを作成しボランティアが担うとともに、講師や参加者にもゆっくりはっきり話すことを協力してもらった。

11)会員団体に関する事項

今年度DEARが会員として参加した団体は次の通り。

<正会員>

- ・(特活)国際協力NGOセンター (JANIC)
- ・教育協力NGOネットワーク (JNNE)
- ・(特活)「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J)
- ・「動く」→「動かす」
- ・アジア南太平洋基礎・成人教育協議会 (ASPBAE)

<賛助会員>

- ・(特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

<準会員>

- ・(特活)関西NGO協議会

以上

資料1: 出版・編集・取材協力など

＜雑誌＞

①「部落解放」681号

(2013年8月)

発行: (株)解放出版社

内容: 特集「ESD(持続可能な開発のための教育)の10年の最終年にむけて」(榎井縁責任編集)に、副代表の上條直美が「ESDと開発教育の10年をふりかえる—開発教育協会(DEAR)の取り組み」を寄稿。

②『オルタナ』別冊コモンビート特集

(2013年9月)

発行: 株式会社オルタナ

内容: ミュージカルNPO「コモンビート」を特集した本誌で、コモンビートとつながる活動としてDEARの活動が紹介された。

③『ワセダアジアレビュー』No.15

(2014年2月)

発行: 早稲田大学アジア研究機構

内容: 「アジアのNGO活動現場から」のコーナーに「本当のグローバル人材の育成をめざして・開発教育で育まれるもの」のテーマでDEARの活動を寄稿した。

＜新聞＞

①富山新聞

(2013年8月18日)

題目: 開発教育を学ぶ 富山で全国集会

内容: 第31回開発教育全国研究集会の様子が以下のように掲載された。「デンマーク・オルボー大学のアネット・コルモス氏が講演し、デンマークで実践されている教育法を紹介した。ワークショップでは、学生がグループに分かれて、原発や世界の食文化をテーマに話し合った」

②北日本新聞

(2013年8月18日)

題目: 開発教育に理解深める

内容: 第31回開発教育全国研究集会の様子が以下のように掲載された。「開発教育は、世界の貧困や紛争などの問題を理解し、その解決に向けて考えを深める教育活動。初日はオルボー大学(デンマーク)のアネット・コルモス教授が自身の活動について基調講演したほか、参加者がエネルギーや環境など五つのテーマを掲げワークショップで意見を交わした」

③茨城新聞

(2013年11月7日)

題目: 児童48人「人権」学ぶ

内容: 水戸市稲荷第一小学校の6年生を対象に実施したワークショップの様子が掲載された。「いじめ」や「人権」をテーマにしたプログラムで、教材は『ワークショップ版・世界がもし100人の村だったら』を活用した。

以上

資料2: 「名義後援」の実績一覧 (計8件)

① 立正佼成会青年本部「第44回 青年の日」(2013年5月19日)

② (特活)メコン・ウォッチ「政治的強制失踪とは?—タイとラオスの誘拐事件に見る開発・人権問題」(2013年5月25日)

③ (公財)日本クリスチャンアカデミー「2013年度開発教育セミナー」(2013年6月~12月)

④ (公財)武蔵野市国際交流協会「夏期教員ワークショップ2013」(2013年7月31日~8月1日)

⑤ 宇都宮大学国際学部 多文化公共圏センター「第5回グローバル教育セミナー~子どもの貧困とグローバル教育」(2014年10月31日)

⑥ 上智大学「多文化・多言語国家「ニッポン」—おきなわ語と唄三線で感じ考える」(2013年12月14日)

⑦ (公財)滋賀県国際協会「平成25年度 国際教育ワークショップ」(2014年1月11日)

⑧ ESD YOUTH INITIATIVE「ESD YOUTH INITIATIVE~将来×世界~」(2014年3月23日)

以上

資料3 「講師派遣」の実績一覧 (75件 160回)

1「新入生オリエンテーション」(2013.4.4/計8回)

主催:流通経済大学 新松戸キャンパス

内容:お互いを知りあう/貿易ゲーム

対象:新松戸校 新入生

派遣者:中村絵乃(事務局長)・西あい(事務局次長)・宮崎花衣(事務局員)・八木亜紀子(事務局員)

対象:自治体職員

派遣者:西あい(事務局次長)

2「新入生オリエンテーション」(2013.4.5/計3回)

主催:流通経済大学 龍ヶ崎キャンパス

内容:お互いを知りあう/新・貿易ゲーム

対象:龍ヶ崎校 新入生

派遣者:中村絵乃(事務局長)・西あい(事務局次長)・宮崎花衣(事務局員)

9「消防職員コース」(2013.5.31)

主催:全国市町村国際文化研究所

内容:異文化コミュニケーション

対象:消防職員

派遣者:中村絵乃(事務局長)

3「新入社員導入研修」(2013.4.23)

主催:双日株式会社

内容:世界がもし100人の村だったら

対象:新入社員

派遣者:上條直美(副代表理事)

10「インターアクト顧問ロータリアン合同研修会」(2013.6.1)

主催:RI第2680地区 ロータリアー

内容:ファシリテーション研修

対象:教員、ロータリアン

派遣者:佐藤友紀(理事)

4「新入生オリエンテーション」(2013.4.26)

主催:和歌山県立星林高等学校

内容:新・貿易ゲーム

対象:新1年生国際交流科

派遣者:荒川共生(DEAR 大阪運営委員)

11「学習講師研修会」(2013.6.10)

主催:藤沢市小学校研究会国際教育部

内容:対立から学ぶワークショップ

対象:小学校教員

派遣者:中村絵乃(事務局長)

5「ESD 講座」(2013.5.8、15/計2回)

主催:立教大学

内容:エネルギーワークショップ

対象:学生

派遣者:八木亜紀子(事務局員)

12「フィールドワーク国際セミナー」(2013.6.15/計2回)

主催:(公財)かながわ国際交流財団

内容:パーム油の話

対象:鎌倉女学院高校1年生

派遣者:逆瀬川愛貴子(インターン)・時里菫子(ボランティア)・都筑弥生(インターン)・中村絵乃(事務局長)

6「国際学習」(2013.5.12)

主催:横浜市立平楽中学校

内容:グローバル・エクスプレス

対象:中学2年生

派遣者:井手将夫(グローバルエクスプレsteam)

13「H25 第1回国際協力推進新着任講習会」(2013.7.8)

主催:JICA 地球ひろば

内容:対立から学ぶワークショップ

対象:H25年度第1回国際協力推進員(新着任)

派遣者:中村絵乃(事務局長)

7「お金をソーシャルに」(2013.5.29)

主催:アジア太平洋資料センター/PARC

内容:新・貿易ゲーム

対象:一般

派遣者:八木亜紀子(事務局員)

14「とちぎグローバルセミナー2013」(2013.7.13)

主催:公益財団法人 栃木県国際交流協会 JICA 地球ひろば

内容:エネルギーワークショップ

対象:一般

派遣者:西あい(事務局次長)

8「地方公務員海外派遣プログラムサポート研修」(2013.5.29)

主催:全国市町村国際文化研究所

内容:異文化コミュニケーション

15「明光アカデミア」(2013.7.13)

主催:調布市北部公民館

内容:100人村ワークショップ

対象:国際科2年生

派遣者:宮崎花衣(事務局員)

16「外国語学部・FD 研修会」(2013.7.13)

主催:文京学院大学
内容:FD の紹介
対象:大学生
派遣者:西あい(事務局次長)

17「H25 人権教育担当者スキルアップ研修」(2013.7.18)
主催:栃木県教育委員会事務局総務課 人権研教育室
内容:対立から学ぶワークショップ
対象:指導主事・社会教育主事・人権教育行政担当者ほか
派遣者:中村絵乃(事務局長)

18「高校生サマーボランティアスクール」(2013.7.29)
主催:安曇野市社会福祉協議会
内容:100 人村ワークショップ
対象:市内高在学、在住の高校生
派遣者:宮崎花衣(事務局員)

19「高校家庭科授業力向上 I 研修会」(2013.7.30)
主催:山梨県総合教育センター
内容:地球の食卓
対象:家庭科教員
派遣者:宮崎花衣(事務局員)

20「麻生区多文化共生推進事業」(2013.7.26.)
主催:多文化共生ネットワーク
内容:身体を動かし、世界と出会う
対象:親子
派遣者:韓朱仙(理事)・宮崎花衣(事務局員)

21「国際理解ワークショップ」(2013.8.3)
主催:岡山県国際交流協会
内容:援助する前に考えよう:WS
対象:教員・一般
派遣者:山中信幸(DEAR 大阪運営委員)

22「H25いじめ解決事業「ふれあいプラン」:「問題解決意識向上
のためのWS」(2013.8.6)
主催:水戸市総合教育研究所
内容:100 人村ワークショップ
対象:水戸市立小中学校教員
派遣者:中村絵乃(事務局長)

23「多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」
(2013.8.6)
主催:JICA 関西 ほか
内容:地球の食卓他
対象:教員・一般
派遣者:佐藤友紀(理事)

24「多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」
(2013.8.6)

主催:JICA 関西ほか
内容:講演「国際理解教育・多文化共生」
対象:教員・一般
派遣者:向井一郎(理事)

25「国際教育セミナー」(2013.8.8)
主催:JICA 関西ほか
内容:100 人の村のワークショップ
対象:教員・一般
派遣者:佐藤友紀(理事)

26「第 5 回国際理解教育講演会」(2013.8.24)
主催:JICA 四国
内容:教材づくりアドバイス、サモアワークショップ
対象:教員・一般
派遣者:佐藤友紀(理事)

27「ふくしまグローバルカレッジ 2013」(2013.9.7)
主催:福島県国際交流協会
内容:援助する前に考えよう
対象:学生
派遣者:湯本浩之(理事)

28「リスクマネジメント 集中講義」(2013.9.25~27/計 10 回)
主催:宇都宮大学
内容:紛争解決のためのワークショップ
対象:大学生
派遣者:中村絵乃(事務局長)

29「茨城県国際理解教育研修会」(2013.10.2)
主催:茨城県国際交流協会
内容:エネルギーワークショップ
対象:国際理解教育ファシリテーター、教員
派遣者:中村絵乃(事務局長)

30「キャリア講座」(2013.10.9)
主催:武蔵野学院大学
内容:世界がもし 100 人の村だったら
対象:大学1, 2年生
派遣者:八木亜紀子(事務局員)

31「国際 NGO 論」(2013.10.9)
主催:龍谷大学
内容:100 人村ワークショップ
対象:学生
派遣者:佐藤友紀(理事)

32「国際理解のためのスペシャルプログラム」(2013.10.11)
主催:川崎市立橋高等学校
内容:パーム油の話
対象:橋高校国際科 2 年

派遣者:逆瀬川愛貴子(インターン)・西あい(事務局次長)

33「2013年度 教師海外研修」(2013.10.27)

主催:JICA 東北

内容:パーム油の話、他

対象:教員

派遣者:八木亜紀子(事務局員)

34「広島県立尾道東高等学校 修学旅行におけるワークショップ」

(2013.10.29/計5回)

主催:(株)近畿日本ツーリスト中国四国 福山支店

内容:100人村ワークショップ

対象:高校生

派遣者:上條直美(副代表理事)、中村絵乃(事務局長)、西あい(事務局次長)、宮崎花衣(事務局員)、八木亜紀子(事務局員)

35「第40回東南アジア青年の船 国際理解」(2013.10.30)

主催:内閣府

内容:貿易ゲーム

対象:日本・ASEANの青年

派遣者:中村絵乃(事務局長)・滝本雅章(ボランティア)・佐藤雄介(ボランティア)・日野智子(ボランティア)

36「6年親子学習活動」(2013.10.31)

主催:水戸市立稲荷第一小学校

内容:100人村ワークショップ

対象:小学校6年生

派遣者:中村絵乃(事務局員)

37「市民社会研究フォーラム「ESDとNPO グッドプラクティス」

(2013.11.9)

主催:関西国際交流協議会

内容:エネルギーワークショップ

対象:一般、日本NPO学会会員など

派遣者:八木亜紀子(事務局員)

38「地球市民講座 2013」(2013.11.13)

主催:千代田区役所 国際平和・男女平等・人権課

内容:貿易ゲーム

対象:区内在住・在勤・在学性

派遣者:八木亜紀子(事務局員)・滝本雅章(ボランティア)・佐藤雄介(ボランティア)

39「H25環境学習リーダー養成講座」(2013.11.16)

主催:神奈川県環境科学センター

内容:環境教育の場で必要な伝え方・WSの手法を学ぶ

対象:県内在住・在勤者

派遣者:西あい(事務局次長)

40「研究入門ゼミ」(2013.12.4)

主催:京都橘大学・コミュニケーション学科

内容:地球の食卓

対象:大学1年生

派遣者:友前 尚子(DEAR大阪運営委員)

41「在日外国人教育推進事業～ 코리아、ベトナム月間より」

(2013.12.5)

主催:神戸市教育委員会、神戸市真陽小学校

内容:地球の食卓・フードマイレージ

対象:5年生児童

派遣者:山中信幸(DEAR 大阪運営委員)

42「国際理解教育指導者セミナー」(2013.12.7、2014.1.18/計2回)

主催:JICA 駒ヶ根

内容:ファシリテーター研修、授業づくり

対象:教員

派遣者:西あい(事務局次長)

43「外国学部授業」(2013.12.10)

主催:文京学院大学

内容:対立から学ぶワークショップ

対象:大学生

派遣者:中村絵乃(事務局長)

44「国際協力コーディネーター講座」(2013.12.18、26/計2回)

主催:環境再生保全機構

内容:(国際協力)

対象:一般

派遣者:西あい(事務局次長)

45「第2回ファシリテーター養成講座」(2013.14.-15/計2回)

主催:認定NPO法人 IVY

内容:対立から学ぶワークショップ

対象:ユースリーダー、一般

派遣者:中村絵乃(事務局長)

46「食品ロス削減のための生ごみ組成調査・普及啓発事業」

(2013.12.18)

主催:(株)廃棄物工学研究所

内容:地球の食卓

対象:一般

派遣者:八木亜紀子(事務局員)

47「ホームレス問題を考えるワークショップ」(2013.12.18)

主催:フードバンク岡山

内容:「身近なことから」などの教材体験

対象:NGO/NPOスタッフ・ボランティア

派遣者:八木亜紀子(事務局員)

48「参加型学習について学ぶ」(2013.12.19)

主催:NPO オレンジハート

内容:参加型学習(パーム油の話)

対象:児童館スタッフなど
派遣者:八木亜紀子(事務局長)

49「親子学習会」(2013.12.20)
主催:西東京市立上向台小学校 PTA
内容:アサーションについて
対象:小学校4年生
派遣者:中村絵乃(事務局長)

50「国際理解教室」(2013.12.20/計2回)
主催:都立大森高校定時制
内容:貿易ゲーム、ケータイの一生
対象:高校生
派遣者:中村絵乃(事務局長)、宮崎花衣(事務局長)

51「ふくしま グローバルセミナー」(2013.12.21~22/計3回)
主催:JICA 二本松
内容:援助する前に考えよう、オープニング、ふりかえり
対象:一般
派遣者:西あい(事務局次長)

52「H25 高校生世代向け国際理解入門セミナー」(2013.12.22)
主催:かながわ国際交流財団、JICA 横浜国際センター
内容:100人村ワークショップ
対象:高校生
派遣者:中村絵乃(事務局長)

53「高校生国際協力実体験セミナー」(2013.12.22~23/計2回)
主催:JICA 関西
内容:貿易ゲーム、ソーシャルグッドなプロジェクト
対象:高校生、教員高校1年生
派遣者:佐藤友紀(理事)

54「アイハウス国際交流塾」(2014.1.12)
主催:(公財)大阪国際交流センター
内容:コンビニから世界が見える
対象:一般
派遣者:佐藤友紀(理事)

55「世界を知る・学ぶ」(2014.1.13)
主催:足立区生涯学習センター
内容:100人村ワークショップ
対象:学生・一般
派遣者:中村絵乃(事務局長)

56「ESDの祭典」(2014.1.13)
主催:ESDの祭典
内容:パーム油の話
対象:一般
派遣者:西あい(事務局次長)、星久美子(インターン)

57「持続可能な社会を考える」(2014.1.23)
主催:近畿日本ツーリスト長岡支店
内容:世界がもし100人の村だったら
対象:一般
派遣者:中村絵乃(事務局長)

58「第3回国際理解教育研修会」(2013.1.25)
主催:JICA 中国
内容:レヌカの学び、ランキング、フォトランゲージ
対象:教員、一般、学生
派遣者:佐藤友紀(理事)

59「開発教育連続セミナー」(2014.1.26)
主催:JICA 関西、大阪国際交流センター
内容:バーチャルネパールツアー、
ボランティア受け入れロールプレイ
対象:一般
派遣者:佐藤友紀(理事)

60「ファシリテーション入門講座」(2014.1.27)
主催:(一財)北海道国際交流センター(HIF)
内容:ファシリテーション入門
対象:一般
派遣者:中村絵乃(事務局長)

61「ワンワールドフェスティバル」(2014.2.1)
主催:ワンワールド・フェスタ実行委員会
内容:チョコレート、フェアトレードタウントレイル
対象:一般
派遣者:佐藤友紀(理事)

62「H25年度第2回新着推進員講習会」(2014.2.8)
主催:JICA 国内事業部
内容:課題の発見、ファシリテーション
対象:新任の国際協力推進員
派遣者:中村絵乃(事務局長)

63「関東ESD学び合いフォーラム」(2014.2.8)
主催:環境パートナーシップオフィス
内容:地球の食卓
対象:一般
派遣者:西あい(事務局次長)、星久美子(インターン)

64「開発教育連続セミナー」(2014.2.16)
主催:JICA 関西、大阪国際交流センター
内容:フェアトレード
対象:一般
派遣者:佐藤友紀(理事)

65「親子体験授業」(2014.2.16)
主催:小平第十小学校

内容:世界がもし100人の村だったら
対象:小学生100名、保護者
派遣者:中村絵乃(事務局長)、星久美子(インターン)、福島智子
(ボランティア)

66「国際理解教室」(2014.2.19)
主催:小山台高校 定時制
内容:新・貿易ゲーム
対象:高校生～若手社会人
派遣者:中村絵乃(事務局長)、星久美子(インターン)、福島智子
(ボランティア)、進藤美沙(ボランティア)

67「エネルギー教材の検討」(2014.2.23)
主催:立教大学 ESD 研究所
内容:エネルギー教材の検討
対象:研究者・教育者
派遣者:八木亜紀子(事務局員)

68「青年ワークショップ」(2014.2.26)
主催:武蔵野市国際交流協会
内容:異文化理解
対象:学生、一般
派遣者:八木亜紀子(事務局員)

69「教師海外研修 参加者研修」(2014.3.9)
主催:JICA 地球ひろば
内容:コメンテーター
対象:教員
派遣者:中村絵乃(事務局長)

70「国際理解教室」(2014.3.15)
主催:(株)学研エデュケーションナル
内容:100人村ワークショップ
対象:小学校・3・4年生 親子

派遣者:中村絵乃(事務局長)

71「国際科の授業」(2014.3.20)
主催:川崎市立橘高等学校
内容:エネルギーワークショップ
対象:国際科 2年生
派遣者:西あい(事務局次長)・星久美子(インターン)

72「ファシリテーター養成講座」(2014.3.25)
主催:長浜バイオ大学
内容:ファシリテーション研修
対象:大学生
派遣者:中村絵乃(事務局長)

73「教育課程研究 a 」(2013.4～7/計15回)
主催:横浜市立大学
内容:開発教育
対象:大学生
派遣者:中村絵乃(事務局長)

74「ファシリテーターの理論と実践」(2013.4～7/計15回)
主催:フェリス学院大学
内容:ファシリテーション
対象:大学生
派遣者:中村絵乃(事務局長)

75「教育課程研究 b 集中講義」(2013.9/計15回)
主催:横浜市立大学
内容:開発教育
対象:大学生
派遣者:中村絵乃(事務局長)

以上